

## はにゅうゆづるせんしゅ ことば 羽生結弦選手の言葉

校長 松本 雅史

おはようございます。

北京オリンピックで世界のアスリートたちの熱戦が繰り広げられています。

今朝は、そのアスリートの一人である、フィギュアスケートの羽生結弦選手の言葉を紹介したいと思います。

それは、

「努力はうそをつく」

です。すでに冬のオリンピックで2連覇を果たし、今回は4回転半という人類史上初となる大技を準備し、満を持して臨んだ羽生選手の活躍を楽しみにしていた人も多かったのではないかと思います。血のにじむ厳しい練習を重ねても、望んだ結果を得られるとは限らない、勝負の世界の厳しさを生き抜いたトップアスリートならではの実感のこもった言葉だと思います。みなさんも、本当に真剣に努力と準備を重ねても、思うような結果が出ずにつらい気持ちになった経験があると思います。この気持ちは、中途半端な挑戦では味わえない深い苦しみです。

しかし、さきほどの「努力はうそをつく」には、続きがあります。

「でも、無駄にはならない。『努力の正解』を見つけることが大切」  
一見、報われないと思う取組や失敗も、それらは全て勝利の未来へと続く布石になります。今頑張っていること、これまで頑張ってきたこと、それらは報われることもあるかもしれないし、そうでないこともあるかもしれません。しかし、あとで振り返った時に、あの結果には意味があったと、「努力の正解」を手にするのできる、常に前向きな自分でありたいものです。

2月も半ばに入りました。今の学年、クラスでの挑戦もあとひと月足らずです。後悔のないよう、残された日々をともどもに力いっぱい頑張ってまいりましょう。

それから、小金井街道の歩道橋の工事もあと少しで終了するそうです。これまでお世話になった、地域やPTA、警備の皆さんにご挨拶の時に「いつもありがとうございます」と、お礼の気持ちも伝えられるといいですね。

これで今朝の話を終わります。